auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

	サービス	参照先
標準サービス	Cメール	P.100
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	P.330
	着信転送サービス	P.336
	割込通話サービス	P.339
	発信番号表示サービス	P.341
	番号通知リクエストサービス	P.342
	データ通信サービス	P.346
有料オプションサービス	三者通話サービス	P.340
	EZ待ちうた	P.342
	迷惑電話撃退サービス	P.344
	通話明細分計サービス	P.345

お知らせ

- オプションサービスは別途ご契約が必要になります。
  お申し込み／お問い合わせの際は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

お留守番サービス(M61)(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、電波OFFモードを設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに「お留守番サービス」で留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスはON(サービス開始)になっておりますので、お客様による開始の操作は不要ですぐにご利用いただけます。
- お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間(約20秒間)は電話に出ることができます。このとき、お留守番サービス以外にau電話の「簡易留守メモ」(▶P.276)または「オート着信」(▶P.326)が同時に設定されているときは、応答時間の短いものが優先されます。お留守番サービスの応答時間(約20秒間)は変更できません。
- お留守番サービスと「着信転送サービス(M62)」は同時に開始できません。
  お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと「番号通知リクエストサービス(M63)」を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 「ダイヤル発信制限(M432)」が設定されているときは、お留守番サービスの設定を呼び出すことはできません。設定を解除してください。

お留守番サービスの開始から停止まで



お留守番サービスでお預かりする伝言

お留守番サービスでは、次の通りに伝言をお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1	1件あたりの録音時間	3分まで
お預かりできる件数	20件まで※2		

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言は、順次自動的に消去されます。
※2 21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、お預かりできないことをガイダンスでお知らせします。
　この中にはボイスメール(▶P.335)の伝言も含まれます。

お留守番サービス総合案内(141)について

総合案内への接続番号「141」を覚えていただければ、個々のダイヤル操作の番号を覚える必要がないので便利です。

1 1 4 1 ▶ 発信

2 ガイダンスに従って操作

総合案内 1 4 1 で利用できる機能

サービス内容	番号
伝言再生	1417
応答メッセージの設定(録音/確認/変更)	1414
英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定	14191/14190
不在通知(蓄積停止)の設定/解除	1610/1611
伝言お知らせの選択/変更	—
着信お知らせの開始/停止	—

お知らせ
- 「伝言を聞く(M611)」~「日本語ガイダンスへの切り替え(M617)」を利用して発信した場合、発信履歴にサービス名が表示されます。

お留守番サービスの開始(M612/M613)

留守番開始1(通話中にかかってきた電話も転送する場合)

1 ● 6 1 2 ▶ 発信 または 1 4 1 1 ▶ 発信

お留守番サービスに接続すると、サービスの開始をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが開始されます。

2 終話

留守番開始2(通話中にかかってきた電話は転送しない場合)

1 ● 6 1 3 ▶ 発信 または 1 4 1 3 ▶ 発信

お留守番サービスに接続すると、サービスの開始をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが開始されます。

2 終話

お留守番サービスでの留守応答

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- **無応答転送**:電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間(約20秒間)呼び出しても電話に出なかった場合
- **話中転送**:通話中にかかってきた場合(留守番開始1で設定した場合のみ)
- **選択転送**:着信中に●(メニュー)▶[転送開始]/ # を押した場合

お知らせ
- 「着信転送サービス(M62)」と異なり、接続される条件を選択して設定できません。
- お留守番サービスを開始しているとき電話がかかってきても、電源がONの状態であれば、着信音が鳴っている間(約20秒間)は電話に出ることができます。

お留守番サービスの停止(M614)

1 ● 6 1 4 ▶ 発信 または 1 4 1 0 ▶ 発信

お留守番サービスに接続すると、サービスの停止をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが停止されます。

2 終話

お知らせ
- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言や応答メッセージは消去されません。

・お留守番サービスを停止していても、伝言再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」は操作できます。また、伝言お知らせ、および着信お知らせの設定変更の操作も可能です。

お留守番サービス中に電話がかかってくると

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。よく電話をかけてくる方にお知らせしておくことをお勧めします。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、お客様が設定された応答メッセージで留守応答します。▶P.333「応答メッセージの録音／確認／変更（M615）」

・電話をかけてきた相手は#を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、#を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

・録音時間は3分以内です。
・伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 #を押して録音を終了

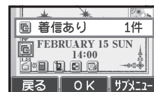
・録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
　1：録音した伝言を再生して、内容を確認
　2：録音した伝言を「至急扱い」にする
　　・「至急扱い」にした伝言は、お客様が伝言を確認すると、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
　9：録音した伝言を消去して、取り消す
　*：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 [終話]

お知らせ
・お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

伝言お知らせ

お留守番サービスセンターで伝言をお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは「着信履歴」（▶P.53）で確認できます。



伝言お知らせが通知されるタイミング

伝言お預かり後、通知されます。
※ただし、通話中、EZweb利用中などですぐにお知らせできない場合がありますが、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせできます。

お知らせ
・伝言お知らせには「発番情報なし」（伝言の未聴／総件数のみのお知らせ）、「発番情報あり」（伝言の未聴／総件数、お預かりした時間、相手の電話番号などのお知らせ）の2種類があります。
・「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間ですが、それぞれ保持件数が異なります。
　発番情報なし：1件　　　発番情報あり：20件
・ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内（▶P.331）で「発番情報なし」に設定変更できます。
・伝言お知らせが届く前に伝言を再生して消去した場合は、その伝言についてのお知らせは届きません。

伝言を聞く（M611）

1 ● 6 1 1 ▶ [発信] または 1 4 1 7 ▶ [発信]

お留守番サービスに接続すると、伝言が再生され、その後ガイダンスが流れます。

2 伝言を聞く

3 ガイダンスに従ってキー操作

[1]:同じ伝言をもう一度聞く
[2]:伝言を保存
[4]:5秒間巻き戻して聞き直す
[5]:伝言を一時停止(20秒間)※1
[6]:5秒間早送りして聞く
[9]:伝言を消去
[0]:伝言再生中の操作方法を聞く
[#]:次の伝言を聞く※2
[*]:前の伝言を聞く※2

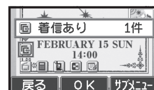
※1 [終話]以外のキーを押すと、伝言の再生を再開します。
※2 再生中の伝言は保存されません。

4 [終話]

お知らせ
- 伝言を再生する前に、伝言が録音された日時を音声で通知します。
- 伝言再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言は常に新しい伝言として保存されます。
- 伝言は、お留守番サービスの留守応答でお預かりした場合も、ボイスメール(▶P.335)でお預かりした場合も同じものとして扱われます。

着信お知らせ

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは「着信履歴」(▶P.53)で確認できます。



着信お知らせが通知されるタイミング

相手の方が伝言を残さず電話を切った後、通知されます。
※ただし、通話中、EZweb利用中などですぐにお知らせできない場合がありますが、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせできます。

お知らせ
- 着信お知らせは、電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間、相手の方の電話番号をお知らせします。
- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
- 着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
- ご契約時は、「着信お知らせあり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内(▶P.331)で「着信お知らせなし」に設定変更できます。

応答メッセージの録音/確認/変更(M615)

現在設定されている応答メッセージの内容を録音/確認/変更/スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 [●][6][1][5]▶[発信]または[1][4][1][4]▶[発信]

お留守番サービスに接続するとガイダンスが流れます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

- **すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージに設定する**
  [1]▶3分以内で応答メッセージを録音▶[#]▶[#]▶[終話]
- **名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージに設定する**
  [2]▶10秒以内で名前を録音▶[#]▶[#]▶[終話]
- **設定されている応答メッセージを確認する**
  [3]▶応答メッセージを確認▶[終話]

お知らせ
- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- 応答メッセージは、お留守番サービスが停止中でも録音できます。
- ご契約時は標準メッセージに設定されています。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[4]を押すと標準メッセージに戻すことができます。
- 通常は、電話をかけてきた方が㊊を押すと応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)伝言の録音を開始できますが、応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。

不在通知（蓄積停止）の設定

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに不在通知（蓄積停止）を設定できます。この機能はお留守番サービスとボイスメールで伝言をお預かりせずに、お客様が録音された声で留守応答するものです。
なお、この機能をご利用になる場合は、事前に「1411」もしくは「1413」でお留守番サービスを開始しておく必要があります。

1 [●][6][1][5]▶[☎]または[1][4][1][4]▶[☎]

お留守番サービスに接続するとガイダンスが流れます。

2 ガイダンスに従って操作

蓄積停止メッセージを録音する

[7]▶3分以内で応答メッセージを録音▶[#]▶[#]

3 [☎]

4 [1][6][1][0]▶[☎]

お留守番サービス・ボイスメールの蓄積を停止したガイダンスを確認

5 [☎]

不在通知（蓄積停止）の解除

1 [1][6][1][1]▶[☎]

お留守番サービス・ボイスメールの蓄積を開始したガイダンスを確認

2 [☎]

お知らせ

- 不在通知を設定後、「1410」でお留守番サービスを停止しても不在通知機能は解除できません。
  この状態で次に「1411」もしくは「1413」でお留守番サービスを開始すると、通常のお留守番サービスではなく、もう一度不在通知機能が設定されます。
  通常のお留守番サービスをご利用になるには、「1611」を入力して不在通知を解除する必要があります。

お留守番サービスの遠隔操作（遠隔操作サービス）

お客様のW62P以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などからお留守番サービスの開始／停止、伝言の再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記XXXXは、サービスの使用目的によって次のようになります。

サービス内容	番号	サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141	**お留守番サービスの停止**	1410
お留守番サービスの開始	1411／1413	**伝言再生**	1417

2 ご利用のW62Pの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

- 暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.16）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

お知らせ

- 遠隔操作を行う場合、暗証番号が必要になりますので、お忘れになりませんようご注意ください。
- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。
  プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

W62Pからのボイスメールの送信

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接伝言を録音するサービスです。また、相手の方がお留守番サービスを停止していても伝言を残すことができます。

- ボイスメールを送信したときに相手の方が電話に出ることはありません。

1 [1][6][1][2]▶送信先のau電話番号を入力▶[発信]

2 ガイダンスに従って伝言を録音

ボイスメールでお預かりする伝言

ボイスメールでは、次の通りに伝言をお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言は、順次自動的に消去されます。

※2 21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、録音できないことをガイダンスでお知らせします。この中にはお留守番サービスの伝言も含まれます。

ボイスメールの再生

ボイスメールをお預かりすると、お留守番サービスの伝言お知らせと同様に、通知音と文字でお知らせします。 ▶P.332「伝言お知らせ」

ボイスメールの再生は、お留守番サービスの「伝言を聞く（M611）」（▶P.332）と同じ方法で再生してください。

ボイスメールの遠隔操作（遠隔操作サービス）

お客様のW62P以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから伝言の再生ができます。

ボイスメールの遠隔操作は、お留守番サービスの「お留守番サービスの遠隔操作（遠隔操作サービス）」（▶P.334）と同じ手順で操作してください。

英語ガイダンスへの切り替え（M616）

［ご契約時：日本語ガイダンス］

お留守番サービスの操作ガイダンスや、応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 [●][6][1][6]▶[発信]または[1][4][1][9][1]▶[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終話]

日本語ガイダンスへの切り替え（M617）

お留守番サービスの操作ガイダンスや、応答メッセージを英語から日本語に変更できます。

1 [●][6][1][7]▶[発信]または[1][4][1][9][0]▶[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終話]

ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言を聞いた場合は通話料がかかります。伝言がないときなど、伝言を聞かなかった場合は通話料はかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言の録音	伝言を残す場合、伝言を残した方の電話に通話料がかかります。 （お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。）

着信転送サービス(M62)(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。
着信転送サービスをご利用になるには、「サービス特番＋転送先電話番号」を入力し、アナウンスに従って各操作を行いますが、W62Pでは、このサービス特番を機能設定で簡単に呼び出すことができます。
あらかじめ「転送先の電話番号の登録(転送先登録)(M626)」で設定した転送先電話番号を付加して入力します。

着信転送サービスのサービス内容と特番

サービス内容	説明・操作
無応答転送	W62Pの電源がOFFのとき、電波が届かない地域にいるとき、またはかかってきた電話に出られないときに、かかってきた電話を転送します。 「1422＋転送先電話番号▶[通話]」または◉[6][2][1]▶[通話]
話中転送	他の電話との通話中にかかってきた電話を転送します。 「1423＋転送先電話番号▶[通話]」または◉[6][2][2]▶[通話]
フル転送	かかってきた電話をすべて転送します。 「1424＋転送先電話番号▶[通話]」または◉[6][2][3]▶[通話]
選択転送	電話がかかってきたとき、その電話に出られない場合に手動で転送します。 着信時に◉(メニュー)▶[転送開始]／[#]と操作して転送します。 「1425＋転送先電話番号▶[通話]」または◉[6][2][4]▶[通話]
転送停止	着信転送サービスを停止します。 「1420▶[通話]」または◉[6][2][5]▶[通話]

お知らせ

- 海外へ電話を転送することもできます。 ▶P.337「海外の電話への転送」
- 緊急電話(110／119／118)、時報／天気予報(117／177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できないようになっています。
- 着信転送サービスを開始していても、電話をかけることができます。また、無応答転送サービスを開始しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話に出ることができます。
  このとき「簡易留守メモ」(▶P.276)または「オート着信」(▶P.326)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。なお、着信転送サービスの応答時間(約20秒間)は変更できません。
- 着信転送サービスと「お留守番サービス(M61)」は同時に開始できません。
  着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと「番号通知リクエストサービス(M63)」を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 「ダイヤル発信制限(M432)」が設定されている場合は、着信転送サービスを呼び出すことはできません。
  ロックNo.を入力して一時的に設定解除するか、もしくは設定を解除してください。
- 無応答転送・話中転送・選択転送は同時に設定が可能です。

転送先の電話番号の登録(転送先登録)(M626)

着信転送サービスで転送する先の電話番号を以下の方法で登録します。

1 ◉[6][2][6]

転送先入力画面が表示されます。

2 **転送先の電話番号を入力▶◉(登録)**

お知らせ

- 転送先電話番号に「184」や「186」を付けて登録しないでください。着信転送サービスが設定できなくなります。
- 転送先が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 転送先が登録されていない状態で「無応答転送(M621)」～「選択転送(M624)」の各操作を行うと「転送先が未登録です。転送先登録(M626)で転送先を登録してください。」と表示されます。
- 転送先の登録を変更しても、すでに設定されている着信転送サービスの転送先は変わりません。もう一度、設定し直してください。

応答できない電話の転送(無応答転送)(M621)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出られないときに転送先登録で登録した電話番号に電話を転送します。

1 ◉[6][2][1]▶[発信]

設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

- 「1422+転送先電話番号」を入力▶[発信]を押しても設定できます。
- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、14212+[発信]で再設定できます。

2 [終話]

通話中にかかってきた電話の転送(話中転送)(M622)

他の電話との通話中にかかってきた電話を転送先登録で登録した電話番号に転送します。

1 ◉[6][2][2]▶[発信]

設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

- 「1423+転送先電話番号」を入力▶[発信]を押しても設定できます。
- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、14213+[発信]で再設定できます。

2 [終話]

お知らせ

- 話中転送と「割込通話サービス(M64)」を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送(フル転送)(M623)

かかってきたすべての電話を転送先登録で登録した電話番号に転送します。

- お客様のW62Pは呼び出されません。

1 ◉[6][2][3]▶[発信]

設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

- 「1424+転送先電話番号」を入力▶[発信]を押しても設定できます。
- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、14214+[発信]で再設定できます。

2 [終話]

手動での転送(選択転送)(M624)

電話がかかってきたとき、電話に出られないときなどに転送先登録で登録した電話番号に手動で転送します。

1 ◉[6][2][4]▶[発信]

設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

- 「1425+転送先電話番号」を入力▶[発信]を押しても設定できます。
- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、14215+[発信]で再設定できます。

2 [終話]

かかってきた電話を転送するには

着信時に◉(メニュー)▶[転送開始]/[#]と操作して転送します。

同時に開始している場合の優先順位

①フル転送　②話中転送　③選択転送　④無応答転送

海外の電話への転送(注)

KDDI(001)の国際電話サービスをお申し込みになれば、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212−123−XXXX」に転送する場合

1 転送の種類によって、それぞれの番号を入力

[1][4][2][2]:無応答転送　[1][4][2][4]:フル転送

[1][4][2][3]:話中転送　[1][4][2][5]:選択転送

2 [発信キー]▶転送先電話番号を入力

KDDI国際アクセスコードから入力します。

KDDI国際アクセスコード				国番号(アメリカ)		市外局番		転送先電話番号
001	―	010	―	1	―	212	―	123XXXX

3 [終話キー]

> **KDDI国際電話サービスについてのお申し込み・お問い合わせについては、下記にて受け付けております。**
>
> 一般電話・au電話から　フリーコール 0077−7160(通話料無料)
>
> 受付時間 9:00〜20:00、土日祝も受付

(注)KDDI以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。また、au国際電話サービス(005345)での転送はご利用いただけません。

着信転送サービスの停止(転送停止)(M625)

着信転送サービスを停止します。

1 [●][6][2][5]▶[発信キー]

設定を解除したことを伝えるガイダンスが流れます。

- 「1420」▶[発信キー]と操作しても停止できます。

2 [終話キー]

着信転送サービスの遠隔操作(遠隔操作サービス)

お客様のW62P以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 **090−4444−XXXXに電話をかける**

上記XXXXは、サービスの使用目的によって次のようになります。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424

サービス内容	番号
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 **ご利用のW62Pの電話番号を入力**

3 **暗証番号(4桁)を入力**

- 暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.16)をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

お知らせ

- 遠隔操作を行う際、暗証番号が必要になりますので、お忘れになりませんようご注意ください。
- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。
  プッシュトーンを送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

ご利用料金について

月額使用料		無料
サービス使用料	サービス開始「1422」〜「1425」	無料
	サービス停止「1420」	無料
	相手先からW62Pまでの通話料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。	有料
	W62Pから転送先までの通話料 ※お客様のご負担となります。(注)	有料

(注) 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

割込通話サービス(M64)(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、あとからかけてこられた方と通話ができるサービスです。開始／停止を切り替えることができます。

- 新規にご加入いただいた際には、サービスは「開始」に設定されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始／停止)に設定し直してください。
- 割込通話サービスは、特別なお申し込みが不要な標準サービスです。

割込通話を受ける

Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる▶[発信]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

- [発信]を押すたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えられます。

お知らせ

- [終話]を押すと、通話中／保留中の両方の通話が終了します。
- 割込通話中に相手が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信は着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 [1][4][5][2]

2 相手先電話番号を入力▶[発信]

- 相手先電話番号は、発信履歴、着信履歴、アドレス帳から呼び出すこともできます。

お知らせ

- 発信の際に、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  その場合、「186／184」を先にダイヤルしてください。
  186＋1452＋相手先電話番号　→「発信者番号を通知する」
  184＋1452＋相手先電話番号　→「発信者番号を通知しない」
  ･1452＋186＋相手先電話番号の順では発信できません。184についても同じです。
  ･割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

割込通話サービスの開始／停止(M641／M642)

割り込みされたくないデータ通信を行う場合などは、割込通話サービスを停止できます。

割込通話サービスを開始する場合

1 [●][6][4][1]▶[発信]または[1][4][5][1]▶[発信]

設定を完了した旨のガイダンスが流れます。

2 [終話]

割込通話サービスを停止する場合

1 [●][6][4][2]▶[発信]または[1][4][5][0]▶[発信]

設定を解除した旨のガイダンスが流れます。

2 [終話]

お知らせ

- 割込通話サービスと「番号通知リクエストサービス（M63）」を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと「迷惑電話撃退サービス」（▶P.344）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- Packet通信ご利用の際、EZwebご利用の際（特に有料データをダウンロード中など）やEメール送受信中、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービス停止の設定後、ご利用ください。
- 割込通話サービスを「停止」に設定しても、Packet通信やEZweb起動中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
- 「最大2.4Mbpsエリア」でPacket通信されている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定どおりに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定どおりに動作します。

ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります。）

三者通話サービス（オプションサービス）

※別途お申し込みが必要です。
通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

三人での通話

Aさんと通話中にBさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

- 通話中に●（メニュー）▶［履歴］▶［発信履歴］／［着信履歴］▶履歴を選択▶●（表示）、または通話中に📖（アドレス帳）▶アドレス帳を選択▶●（表示）と操作しても電話番号を呼び出せます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、[発信]を2回押すとAさんとの通話に戻ります。

4 [発信]

3人で通話できます。

5 [発信]

Bさんとの通話を終了して、Aさんとの通話に戻ります。

お知らせ

- 三者通話中に[終話]を押すと、すべての通話が終了します。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。通話料は、それぞれ電話をかけた方のご負担になります。
- 三者通話では、Cメールを送ることはできません。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご契約のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう一人の相手との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。

三者通話開始後の操作

操作	概要
自分で[発信]を押す	Aさんとの二者通話に戻ります。Bさんとの電話は切れてしまうため、三者通話に戻すには、もう一度電話をかけ直す必要があります。
Bさんが電話を切る	Aさんとの二者通話に戻ります。
Aさんが電話を切る	Bさんとの二者通話になります。
自分で[終話]を押す	Aさんとの電話もBさんとの電話も切れます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります。）

発信番号表示サービス（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のW62Pのディスプレイに表示されるサービスです。

お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」または「186」を付けて入力することによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知する／しないを指定できます。

電話番号を通知する場合	相手先電話番号▶[発信]※ 186＋相手先電話番号▶[発信]
電話番号を通知しない場合	184＋相手先電話番号▶[発信]

※「発信者番号通知（M42）」が「通知する」に設定されている場合。

お知らせ

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手方のネットワークおよび電話機によってはお客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 三者通話サービス（▶P.340）を行う場合でも、電話番号を通知する／しないを指定できます。
- 「184」または「186」を入力した後に、発信履歴・着信履歴・アドレス帳の電話番号を呼び出して電話をかけることもできます。
- 「発信者番号通知（M42）」により、「184／186」を自動付加することもできます。
- 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、発信者番号通知の設定を「通知する」にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。
- 「発信者番号通知（M42）」を「通知しない」に設定しても、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。

相手の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	詳細
非通知設定	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合
公衆電話	相手の方が公衆電話からかけている場合
通知不可能	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合

お知らせ

- 電話をかけてきた相手の方の名前と電話番号がアドレス帳に登録されていて、「着信時相手表示（M319）」が「表示する」に設定していた場合、電話がかかってきたときに名前と電話番号が表示されます。
- アドレス帳の着信画像が「着信表示する」に設定されている場合、画像が表示されます。
- 割込通話サービスに対しても発信者番号の表示ができます。

「184」／「186」の自動付加の設定（発信者番号通知）（M42）

「184（発信者番号非通知）」または「186（発信者番号通知）」を自動的に付加して、電話をかけることができます。

1 [●][4][2]

2

通知する	お客様の電話番号が通知される
通知しない	相手の方の電話番号に自動的に「184」を追加して入力され、お客様の電話番号は通知されない

お知らせ
- 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知(M42)」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- 自動付加した「184」または「186」は、電話をかけたときや発信履歴には表示されません。

番号通知リクエストサービス(M63)(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

お知らせ
- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- 「お留守番サービス(M61)」「着信転送サービス(M62)」「割込通話サービス(M64)」「三者通話サービス」のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと「迷惑電話撃退サービス」を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

番号通知リクエストサービスの開始(M631)

1 ● 6 3 1 ▶ ☎ または 1 4 8 1 ▶ ☎
設定が完了したことをお知らせするガイダンスが流れます。

2 ☎

番号通知リクエストサービスの停止(M632)

1 ● 6 3 2 ▶ ☎ または 1 4 8 0 ▶ ☎
設定を解除したことをお知らせするガイダンスが流れます。

2 ☎

お知らせ
- サービスの開始・停止には通話料はかかりません。
- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 次の条件からの着信時には、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
  ･公衆電話、国際電話
  ･Cメール
  ･その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

EZ待ちうた(オプションサービス) EZweb契約要

※別途お申し込みが必要です。
EZ待ちうたとは、発信相手への呼び出し音のかわりに、お気に入りの音楽やメロディを聴かせてあげられるサービスです。
指定した発信者や日時・時間帯によって、それぞれ違った音楽を選ぶこともできます。

楽曲を設定登録する

1 au oneトップ(▶P.159)▶[カテゴリ(メニューリスト)]▶[待ちうた]

2 楽曲設定登録画面で待ちうたを設定

お知らせ
- 設定した待ちうたは、待ちうたMyリストに登録されます。
- 購入した楽曲は最大20曲まで保存できます。また、設定する曲を入れ替えることができます。
- 最大5グループ(1グループあたり10人)まで設定できます。
- 相手(発信者)には音楽やボイスが呼び出し音であることをアナウンスでお知らせします。

楽曲を聴かせる

全員に聴かせる場合(楽曲を設定済みの場合の操作となります。)

1 au oneトップ(▶P.159)▶[カテゴリ(メニューリスト)]▶[待ちうた]▶[EZ待ちうた設定メニュー]▶[My設定]▶[1.みんなに聴かせる]

2 画面の指示に従って操作▶完了

お知らせ
- 発信者番号が番号非通知の着信には「みんなに聴かせる」に設定した楽曲が流れます。
- 楽曲設定時に「特定の人達に聴かせる」、「決まった日時･曜日に聴かせる」を設定することもできます。
- 着信転送サービスが起動されている場合、転送条件を問わず、電話をかけてきた相手に「EZ待ちうた」の楽曲は流れません。
- グローバルパスポートGSMで海外で使用しているときは、電話をかけてきた相手に「EZ待ちうた」の楽曲は流れません。

待ちうた情報お知らせサービス　090−4444−1460▶[発信](通話料有料)

EZ待ちうたご加入者へ電話をかけて聴いた待ちうた情報を、Cメールで通知するサービスです。
ここで説明するのは、電話をかけてきた方が利用できる操作です。

1 待ちうたを聴いてから60分以内に090−4444−1460へ電話をかける

2 最後に聴いた待ちうたの「曲名＆アーティスト名」がCメールで送信される

お知らせ
- 待ちうた情報お知らせサービスをご利用できるのはauのお客様のみとなります。
- Cメールで通知するのは、直前の１曲のみとなります。
- 待ちうた情報お知らせサービスの特番に発信する場合、通話料が発生します。
- 楽曲をお聴きになってから60分を経過した場合、待ちうた情報お知らせサービスのCメールは配信されません(090−4444−1460への通話料は発生します)。
- Cメール非対応のau電話をご利用のお客様は、待ちうた情報お知らせサービスはご利用になれません。

EZ待ちうたに関するご注意

- au電話においてEZ待ちうたのオプションサービスを解約すると、楽曲の利用契約も同時に解約されます。なお、解約済みとなった楽曲の利用情報は、EZ有料情報サービスの「継続利用確認」メニューでは最大で解約した翌々日まで、EZ待ちうた設定メニューの待ちうたMyリストおよびMy設定では最大で解約した翌日まで、表示される場合があります。
- 権利上の理由その他KDDI(株)および沖縄セルラー電話(株)の都合により、お客様に通知することなく楽曲の提供(待ちうたMyリストに設定済みの楽曲も含む)を終了させていただく場合があります。
- 改番、譲渡、一時休止、または一部のEZwebコース変更を伴う機種変更において、楽曲の利用契約は解約扱いとなります。なお、各手続き後、同月内で同一楽曲と再度利用契約を結んだ場合は月額料金が改めて発生します。
- 混雑した場合などでは、電波状態により待ちうたの音質が変化する場合があります。
- EZ待ちうたをご利用いただくには、EZ待ちうたに加え、EZwebのお申し込みが必要です。
- 楽曲を試聴する場合、通話料が発生します。また、EZ待ちうた設定メニューの待ちうたMyリストなどの各種設定には、パケット通信料が発生します。これらの料金はお客様のご負担となりますので、ご留意ください。

ご利用料金について

月額使用料	有料

迷惑電話撃退サービス（オプションサービス）

※別途お申し込みが必要です。
迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」と入力すると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」に接続するサービスです。

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 1 4 4 2 ▶ [発信キー]
設定が完了したことをお知らせするガイダンスが流れます。

2 [終話キー]

お知らせ

- 「お留守番サービス（M61）」「着信転送サービス（M62）」「割込通話サービス（M64）」「三者通話サービス」「番号通知リクエストサービス（M63）」のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 受信拒否リストへ登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 次の条件からの着信時には、受信拒否リストへは登録できません。
  ･警察、消防機関、海上保安本部　･公衆電話、国際電話　･Cメール
- 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
- 受信拒否リストに登録した相手の方にお断りガイダンスが流れると、相手の方に通話料がかかります。
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
  お断りガイダンスの内容：「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」
- 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
  ･Cメール　･国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除

1 1 4 4 8 ▶ [発信キー]
最後に登録した電話番号を削除したことをお知らせするガイダンスが流れます。

2 [終話キー]

お知らせ

- 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合、常に新しい登録から順に1件ずつ削除します。

受信拒否リストに登録した電話番号の全件削除

1 1 4 4 9 ▶ [発信キー]
受信拒否リストに登録した電話番号をすべて削除したことをお知らせするガイダンスが流れます。

2 [終話キー]

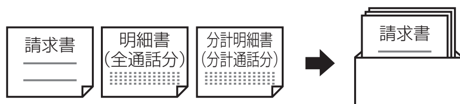
ご利用料金について

月額使用料		有料
サービス使用料	受信拒否リスト登録「1442」	無料
	最後の登録を削除「1448」	無料
	すべての登録を削除「1449」	無料

通話明細分計サービス(オプションサービス)

※別途お申し込みが必要です。
分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです(それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます)。

請求書発行イメージ



通話明細分計サービスの利用

1 [1][3][1]

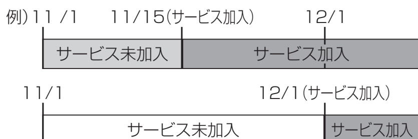
2 相手先電話番号を入力▶[発信]

- 次のようにダイヤルすることにより、分計したい通話ごとにお客様の電話番号を通知する/しないを指定できます。

電話番号を通知して分計する場合	131+相手先電話番号▶[発信]※ 186+131+相手先電話番号▶[発信]
電話番号を通知しないで分計する場合	184+131+相手先電話番号▶[発信]

※「発信者番号通知(M42)」を「通知する」に設定されている場合。

- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載致します。



お知らせ
- 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要※があります。
  ※簡単な発信方法については「電話番号メニュー」(▶P.50)をご参照ください。
- フリーダイヤル、110、119、118、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。

データ通信サービス（標準サービス）

PacketWIN

PacketWINとはPacket通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスです。Packet通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
W62Pは「au.NET（エーユードットネット）」やPacketWIN対応プロバイダ（別途、プロバイダとの契約が必要となります）のご利用により、パソコンなどを手軽にインターネットに接続しPacket通信を行うことができます。
au.NETについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。また、対応プロバイダのサービス内容につきましては各社にご確認ください。

パケット通信ご利用上の注意

パソコンなどと付属のUSBケーブル（試供品）またはUSBケーブルWIN（別売）を使用しての通信料は、パケット通信料割引サービスの上限額の対象とはなりません。
画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となりますのでご注意ください。
また、ワーム型のコンピューターウィルスなどの影響により、常時携帯電話とパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生する恐れがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防･対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。

ご利用パケット通信料のご確認方法について

料金照会（今月「前日または前々日まで」の割引適用後の概算パケット通信料）をご照会いただけます。
パソコンから ⇒ http://cs.kddi.com/ （auお客さまサポート）
※初回ご利用の際はお申し込みが必要です。
au電話から ⇒ Ⓔ▶［au oneトップ］▶［auお客さまサポート］▶［確認する］
W62Pではパソコンと接続機器を使って、最大通信速度2.4Mbps対応エリアでは、受信2.4Mbps／送信144kbpsのPacket通信がご利用いただけます。
ただし、対応エリア以外では、最大通信速度が受信144kbps／送信64kbpsとなります。

PacketWINのご利用料金について

月額使用料	無料
通信料	有料

au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

お知らせ

- auパケットデータ通信サービスでは、ダイヤルアップ接続におけるログインIDのドメイン部分（@以降）に大文字を使用しての接続はできません。小文字で入力して設定のうえ、接続してください。
- ご利用には、USBケーブル（試供品）またはUSBケーブルWIN（別売）などの接続機器が必要です。
- 別途ご契約により、PacketWIN対応プロバイダ※による接続もできます。
  ※対応プロバイダについては、auホームページをご参照ください。また、設定方法は通信ソフトにより異なりますので、各対応プロバイダの設定手順書をご参照ください。
- パソコンなどからの接続の方法、Packet通信の方法は、パソコンなどでご利用になる通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- Packet通信中は、音声通話の割り込みができない場合があります。
- Packet通信でのデータ送信は、「時間／料金目安（M12）」の通話時間に記録されません。また、送受信の記録も発信履歴や着信履歴に残りません。
- W62Pは電波を利用しているため、電波の弱い地域などでは、Packet通信できない場合があります。
- 実効速度（スループット）は、接続する機器の種類やお使いになる環境（天候、電波状況やネットワークの混雑状況）により、「通信環境確認（M591）」で表示された通信速度にならない場合があります。
- Packet通信をしながら充電できます。その場合には卓上ホルダを使用した充電方法で充電してください。
- 「オートロック（M412）」「ダイヤル発信制限（M432）」が設定されている場合、Packet通信はできません。設定を解除してください。
- 「データ通信制限（M439）」が設定されている場合、データ通信サービスを利用するための発信はできません。設定を解除してください。
- Packet通信はW62Pを待受画面にして行ってください。
- 音声通話中に電話を切らずにPacket通信を開始することはできません。

通信環境確認（M591）

現在地でのご利用可能な通信速度を確認します。

1 ● 5 9 1

次のメッセージが表示されます。

通信環境	メッセージ
CDMA 1X WINサービスエリア内	最大2.4MbpsでPacket通信とマルチキャスト通信が可能です
CDMA 1X WINサービスエリア外	最大144kbpsでPacket通信可能です
電波圏外（サービスエリア外か電波極弱）	電波状態のよいところでリトライしてください

※「電波OFFモード（M57）」を「電波OFFする」に設定している場合、通信環境確認は行えません。

PacketWINの利用〈利用するための準備〉

PacketWINをご利用になる前に、USBドライバの設定とパソコン側でのダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）の設定が必要です。

USBドライバについては、付属のインストールマニュアルをご参照ください。また、最新のドライバおよびインストールマニュアルについては、下記ホームページをご覧ください。

auのホームページ	http://www.au.kddi.com/seihin/shuhenkiki/kiki/usb_driver.html
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ	http://panasonic.jp/mobile/support/download/w62p/index.html

1 接続機器（USBケーブル（試供品）など）をパソコンなどに接続

▶P.30「外部メモリ転送接続／データ通信しながら充電する」

2 接続機器のモデムを設定

3 ダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）を設定

■ au.NETご利用の場合の設定

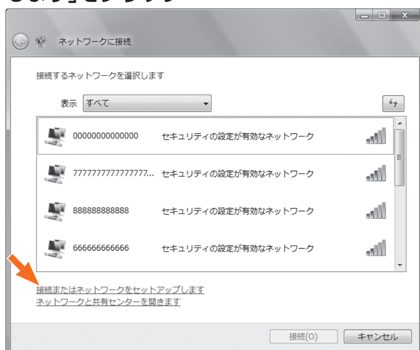
項目	設定（値）
ユーザー名※1	「au@au-win.ne.jp」:全ユーザー共通
パスワード※1	「au」:全ユーザー共通
電話番号※2	＊99＊＊24#
DNSアドレス	・プライマリDNS：210.196.3.183 ・セカンダリDNS：210.141.112.163

※1 ユーザー名、パスワードは半角小文字で入力してください。

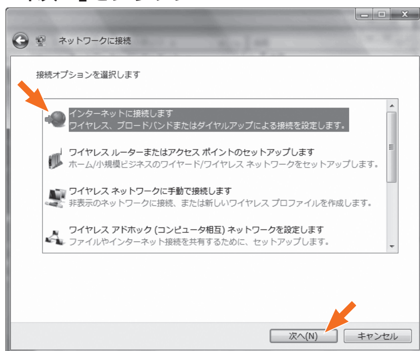
※2 Packet通信サービスをご利用になる場合、「ダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）」の「電話番号」項目欄には「＊99＊＊24＃」と設定してください。「＊99＊＊24＃」以外の英数字を設定した場合は接続できませんのでご注意ください。

Windows Vista®でのau.NETご利用の設定

1 Windowsの「スタート」から「接続先」を開く▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック



2 「インターネットに接続します」を選択▶「次へ」をクリック

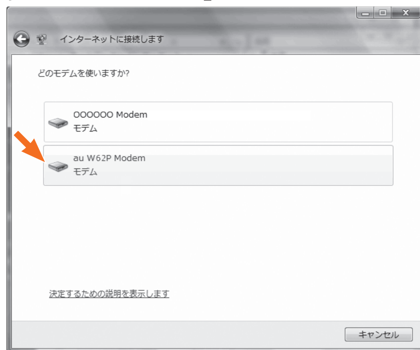


3 「ダイヤルアップ」をクリック

- 「既にインターネットに接続しています」の画面が表示された場合は、「新しい接続をセットアップします」をクリックし、「いいえ、新しい接続を作成します」を選択して「次へ」をクリックします。



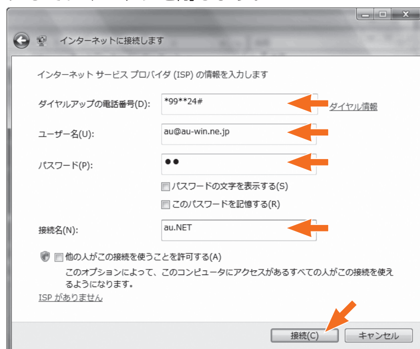
4 「au W62P Modem」をクリック



5 以下の情報を入力▶「接続」をクリック

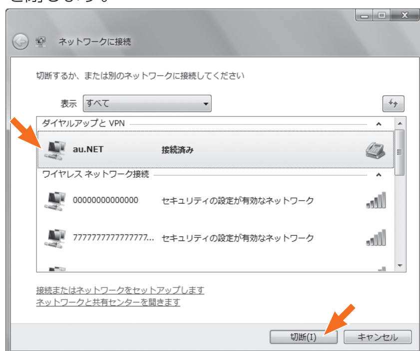
ダイヤルアップの電話番号:＊99＊＊24#
ユーザー名:au@au-win.ne.jp
パスワード:au
接続名:任意の名前(例:au.NET)

インターネットに接続されたら「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

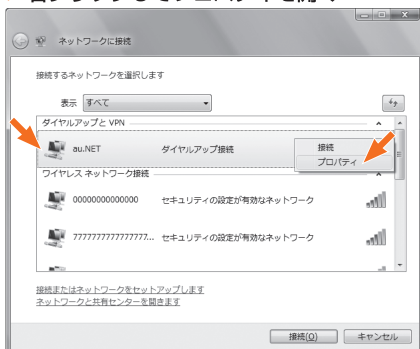


6 Windowsの「スタート」から「接続先」を開く ▶任意の名前(例:au.NET)を選択 ▶「切断」をクリック

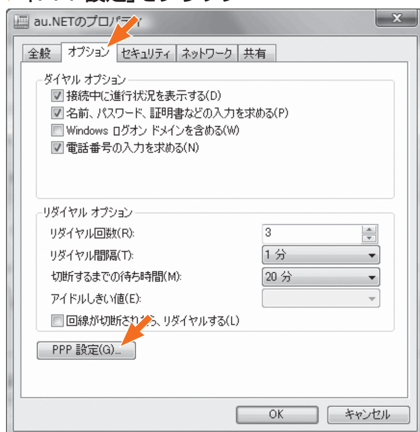
切断されたら「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。



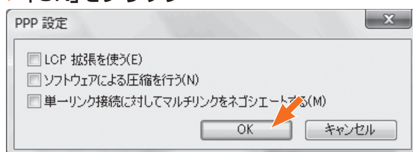
7 Windowsの「スタート」から「接続先」を開く ▶任意の名前(例:au.NET)を選択 ▶右クリックしてプロパティを開く



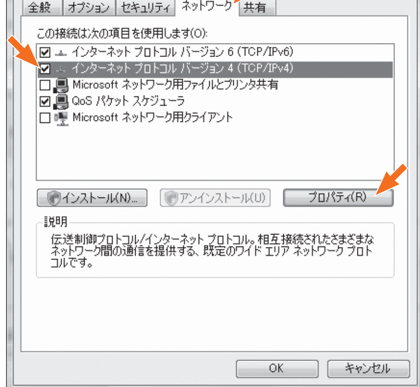
8 プロパティ画面の「オプション」タブを選択 ▶「PPP設定」をクリック



9 「PPP設定」ですべてのチェックを外す ▶「OK」をクリック

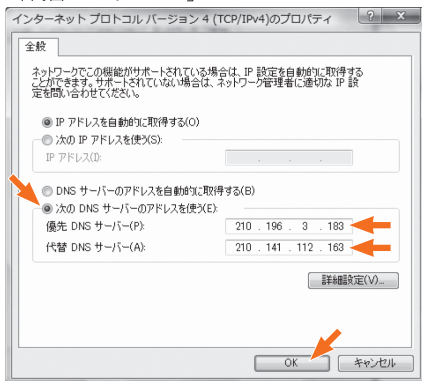


10 プロパティ画面の「ネットワーク」タブを選択▶「インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択▶「プロパティ」をクリック

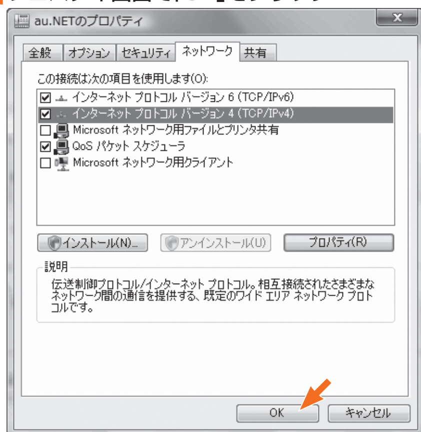


11 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をチェック▶「優先DNSサーバー」と「代替DNSサーバー」に次のような値を入力▶「OK」をクリック

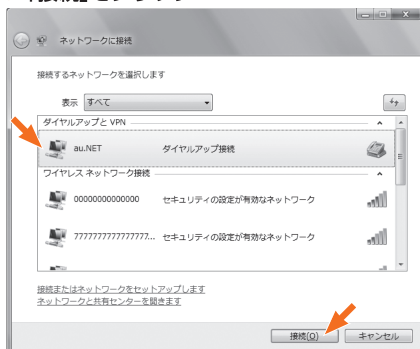
- 「優先DNSサーバー」: 210.196. 3.183
- 「代替DNSサーバー」: 210.141.112.163



12 プロパティ画面で「OK」をクリック



13 Windowsの「スタート」から「接続先」を開く▶任意の名前(例:au.NET)を選択▶「接続」をクリック



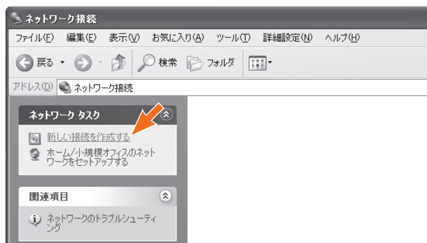
14 「パスワード」に「au」を入力▶「ダイヤル」をクリック



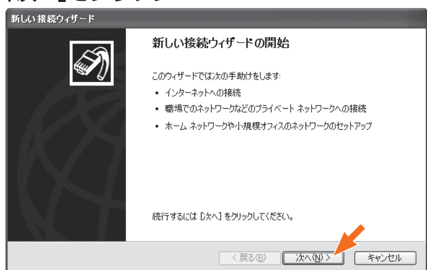
Windows® XPでのau.NETご利用の設定

1 Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット接続」▶「ネットワーク接続」を開く▶ネットワークタスク中の「新しい接続を作成する」をダブルクリック

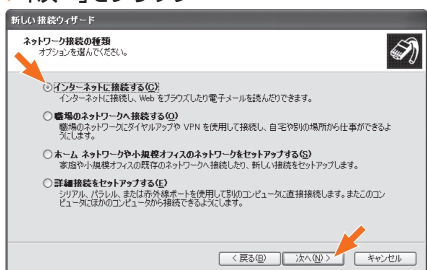
※パソコンの機能設定により、シングルクリックの場合があります。



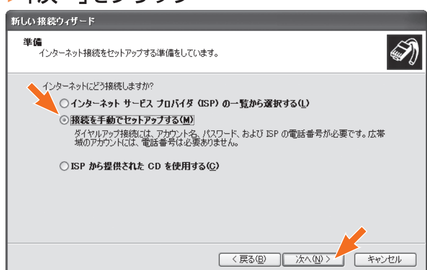
2 「次へ」をクリック



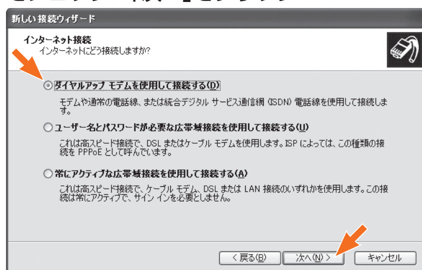
3 「インターネットに接続する」をチェック▶「次へ」をクリック



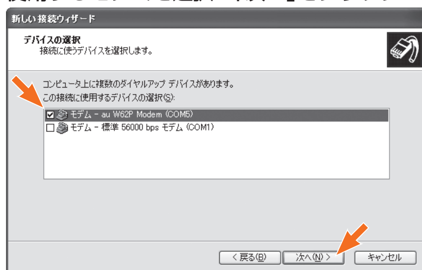
4 「接続を手動でセットアップする」をチェック▶「次へ」をクリック



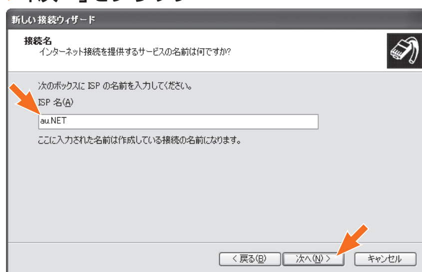
5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」をチェック▶「次へ」をクリック



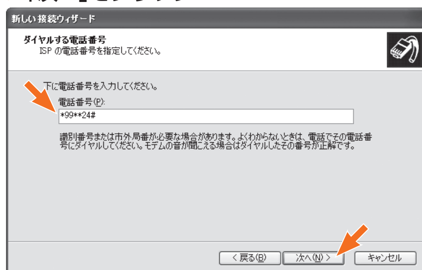
6 使用するモデムを選択▶「次へ」をクリック



7 「ISP名」に任意の名前（例：au.NET）を入力▶「次へ」をクリック

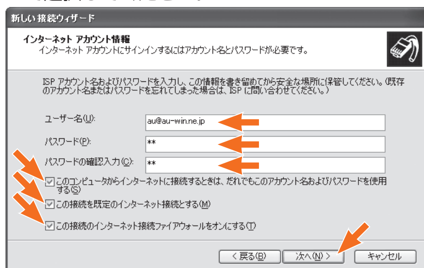


8 「電話番号」に「＊99＊＊24#」を入力▶「次へ」をクリック

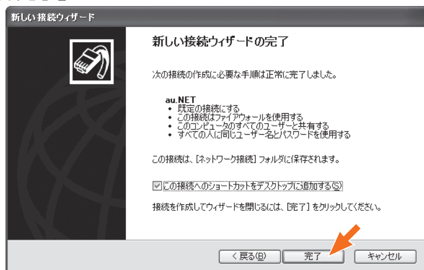


9 「ユーザー名」に「au@au-win.ne.jp」、「パスワード」と「パスワードの確認入力」に「au」と入力▶「次へ」をクリック

※「パスワードの確認入力」の下にあるチェックボックスはお客様がお使いになる環境に合わせて選択してください。



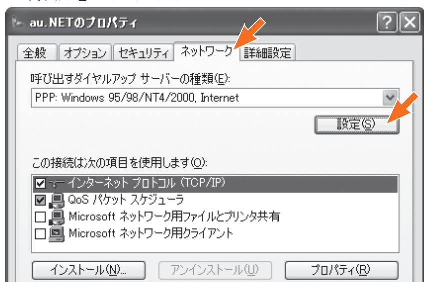
10 「完了」をクリック



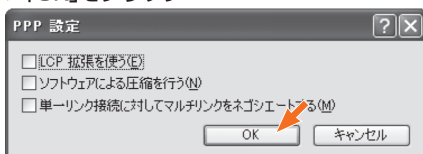
11 Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット接続」▶「ネットワーク接続」を開く▶任意の名前(例 :au.NET)のアイコンを選択▶右クリックしてプロパティを開く



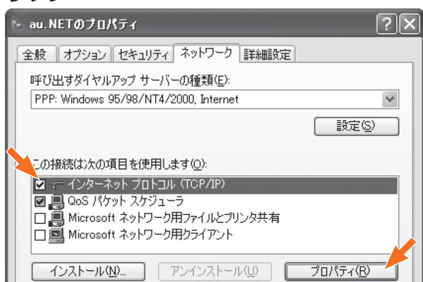
12 プロパティ画面の「ネットワーク」タブを選択▶「設定」をクリック



13 「PPP設定」ですべてのチェックを外す▶「OK」をクリック

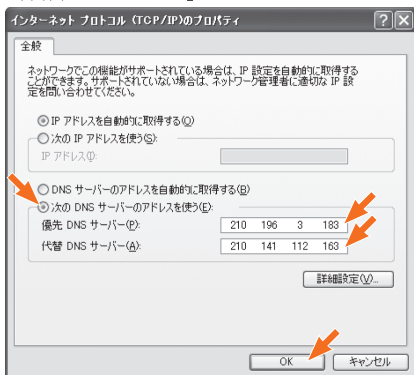


14 プロパティ画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をチェック▶「プロパティ」をクリック

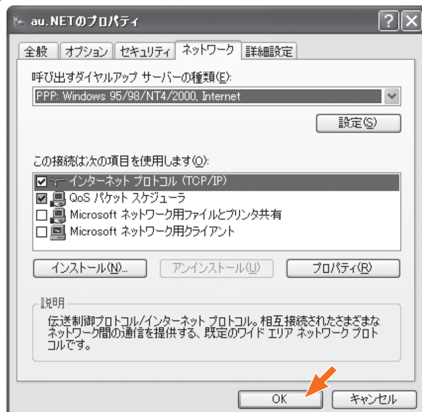


15 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をチェック▶「優先DNSサーバー」と「代替DNSサーバー」に次のような値を入力▶「OK」をクリック

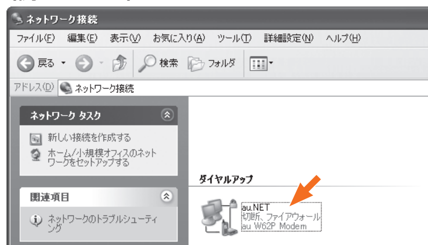
- 「優先DNSサーバー」: 210.196. 3.183
- 「代替DNSサーバー」: 210.141.112.163



16 プロパティ画面で「OK」をクリック



17 Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット接続」▶「ネットワーク接続」を開く▶任意の名前（例 :au.NET）のアイコンをダブルクリック



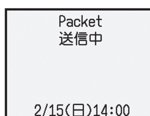
18「ダイヤル」をクリック



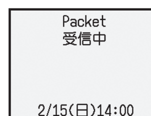
お知らせ
- 電波状態が悪いときなどは、通信速度が最大2.4Mbpsから最大144kbpsに落ちたり、通信できない場合があります。
- W62Pは、ASYNC／FAX通信は非対応です。

Packet通信中の表示

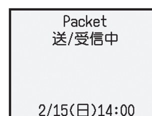
Packet通信中は右のように表示されます。



《Packet送信中》



《Packet受信中》



《Packet送受信中》

お知らせ
- Packet通信中に◉（確認）を押すと、現在の通信環境がポップアップ表示されます。
- Packet通信中にEメールを受信した場合は、通信中の画面で が表示されて、「お知らせ受信（M23）」で設定された通知音が鳴ります。
  Packet通信を終了した後、Eメールを受信します。
- Packet通信中にCメールを受信した場合は、通信中の画面で が表示されて、「Cメール受信（M24）」で設定された受信音が鳴ります。
  Packet通信を終了した後、受信したCメールの内容を確認できます。